

# 住まいのかわら版 No.36

皆さん！ お元気ですか？  
今回は久々の『かわら版』です。ご無沙汰してます。  
ペコリ(〇〇)  
今回は【地球温暖化現象】について調べてみました。  
(但し、これは温暖化現象の一部です)

## 【地球温暖化】

私たちの住んでいる地球が出来たのは、46億年前です。青い海と緑の大地。そして、大気。生命が誕生し、進化し続けた地球。私たちの原点ともなる地球を私たち自身が、破壊しています。その結果が、環境問題のひとつになっている「地球温暖化現象」です。地球温暖化とは、一体どういうことなのか？今の地球で何が起きているのでしょうか？

## 【地球温暖化の原因と被害予想】

“地球温暖化”とは、人間活動の拡大で、二酸化炭素・メタン・亜鉛化窒素などの【温室効果ガス】の濃度が増加することで、地球の表面温度が上昇することを言います。では、地球表面温度が上昇するとどういったことが起きるのでしょうか？

- 1、海面水位が上昇することで、領土がなくなる。水没の危険。
- 2、豪雨・干ばつなどの、異常気象の増加。
- 3、生態系への影響・貴重な遺伝子の減少。
- 4、森林伐採や異常気象による砂漠化の進行。
- 5、水資源などへの影響、水不足の発生。
- 6、熱帯性感染症発生の増加(マラリア・コレラなど)
- 7、気温上昇による穀物生産の低下。食糧不足問題。
- 8、高温による冷房などの消費エネルギーの増加によるエネルギー不足。

これらのことが起こります。地球の温暖化が進むことは、私たちの生活にも被害が及びます。ただ、地球温暖化は、目に見えないということから、私たち自身が危機的な状況にならないため、理解しにくい現状なのかもしれません。でも、将来的には、もっと深刻な問題になっていることは確かです。人事ではなく、将来のある子供達のた

## 【オゾン層】

昔、地球にオゾン層がなかった時代、太陽からの紫外線が地上に降り注がれ、生物は生存できませんでした。そして、オゾン層ができたことによって紫外線がカットされ、生命が誕生し、現在のような地球になったのです。そして今、地球を紫外線から守ってくれているオゾン層が人間の手によって破壊され、生命誕生以前の地球になろうとしています。

オゾン層は、地上 20~30km のところにあります。それを地上にもってくる約 3mm (1気圧)の厚さしかありません。例えるなら、レースのカーテンのようなもので、地上のすべてのものを紫外線から守ってくれているのです。それを私たちは、破壊しようとしている。それが「オゾン層破壊」です。

オゾン層が破壊されることで、どんなことが起こるのでしょうか？オゾン層は、太陽の日光に含まれている紫外線をカットします。その有害な紫外線に、直接あたってしまうと、皮膚ガンや白内障・失明、免疫低下によるエイズなどのウィルス性の病気にかかりやすくなるということがわかっています。さらには、生物細胞の遺伝子(DNA)にも影響があるのです。今は、世界中で皮膚ガンや白内障にかかる人が増加し、日本でも7倍に増えています。20年後には、オゾン層は2/3が減少し、最悪の事態になると言われているのです。オゾン層破壊は、地球温暖化においても、大きな環境問題のひとつだということです。

## 【異常気象】

異常気象といわれると、台風や洪水、干ばつなどを思い浮かべます。ですが、私達の身近なところでも異常気象は起きています。毎年のように続く猛暑と暖冬ですが、「たまたまでしょうか？」などと思いついては大変です。猛暑や暖冬も十分に異常気象なのです。では、この猛暑や暖冬も含めた異常気象の原因とは何なのでしょう？また、対策を立てることはできるのでしょうか？

気温が1度違うと、緯度が100km違うといえます。もし、平均気温が1度上がったとしたら、緯度が100km下がったのと一緒なのです。東京は100年で5度平均気温が上がっています。なので、今の東京の温度は100年前の鹿児島と同じ気温なのです。人間にとっての気温の1度や2度程度、上がったたり下がったりしても大して生活などに困りもしませんし大変でもありません。しかし、植物やその他の生物にとって、1度の違いというのはとても重要なものなのです。もし、私たちの住んでいる地域から100kmほど離れても気候が全く同じだと思いませんか？また、気温が上がれば今までは生息していなかった生物が現れるだけでなく、病原菌も同時に現れるといえます。気温の変化がもし山に及んだ場合には、1度違えば高度は100mも違います。つまりは、2000mで育っていた高山植物が、気温が3度上がってしまった場合に、2300mも高度があるところでないとい育たないということです。これでは完全に、地域の生態系が変わってしましますね。

## 【二酸化炭素】

私たち人間の身体は、酸素を吸入し、二酸化炭素を吐き出す。石油や石炭など化石燃料の燃焼などによって排出される二酸化炭素。その排出された二酸化炭素許容濃度は低く、0.5%といわれている。たった0.5%上昇するだけで、人間は意識不明となり、25%以上の濃度になると数時間のうちに人は生きていけなくなる。なにげない生活の中で、二酸化炭素が危険であるということをおぼろげに生活している人がほとんどです。しかし、この二酸化炭素は、地球温暖化に影響を及ぼす、【温室効果ガス】のひとつなのです。

これ以上被害を増やさないためにも、地球温暖化を防ぐ措置が必要になってくるのです。私たち自身ができることとして、二酸化炭素を減少させ、温室効果ガスを出さないようにする。私たちが住んでいる日本では、世界でも4番目に、二酸化炭素排出をしている国のひとつです。二酸化炭素など、地球温暖化にかかわる【温室効果ガス】を出さないようにしていかねばならないのです。

## 【環境ホルモン】

地球温暖化の影響か？とも言われる「環境ホルモン」ですが、環境ホルモンとは、一体どんなものなのでしょうか？

「環境ホルモン」が問題となりはじめたのは、1980年頃に世界各地で異常が発見されることによって、研究がされるようになりました。環境ホルモンは、「外因性内分泌攪乱物質」または「外因性内分泌攪乱化学物質」と呼ばれています。環境ホルモンという呼び名は、あるひとつの物質の名前ではなく、生物のホルモンの働きを狂わせてしまう物質の総称です。環境ホルモンは、体内の正常な働きをするホルモンの働きを壊すことで、様々な異常を引き起こします。

環境ホルモンの原因となっているのは、化学物質です。化学物質を大量に摂取しているとは、誰もが思わないのでしょうか、日々の生活の中で環境ホルモンは、身体の中に取り込まれているといってもよいでしょう。殺菌剤・防腐剤・殺虫剤・農薬・食品添加物・ダイオキシンなどで、約70種類の化学物質があげられています。さらに、環境汚染された状態の川や海などからも有害物質が検出されています。産廃処分場の浸出水から、30種以上の環境ホルモンが検出されたという例もあります。

環境ホルモンは、知能低下・学力障害・注意力欠如・ストレスへの過剰反応・拒食症・強迫神経症・様々な不安症・鬱状態・アレルギーなど、人や生物に、多大な悪影響を及ぼすことがわかっています。さらに、環境ホルモンの影響を受けている動物の肉などを食べることも環境ホルモンの影響があります。そして、人間への影響として、キレイな子供が増えたことも環境ホルモンの影響ではないか？と言われています。私たちが、なにげなく食べているジャンクフードには、着色料や保存料といった食品添加物(化学物質)が大量に入っています。さらに、カップメンやお弁当などの容器や缶ジュースの缶には、化学物質が使われていて、微量ですが、溶け出しているとのこと。私たちが、安全だと思っているものには、実際、多くの化学物質が入っているというのが現状なのです。しかし、そういったものは、私たちの目に

当社では資材を大事にしています。

建築資材の切れ端(ボード・ベニヤ・桧木・角材等)が必要なのは気軽にお電話ください。  
無料でお譲りいたします。  
日曜大工などにお役立てください。



中 西 建 設

〒818-0058 筑紫野市 湯町1丁目11-1



世界でただひとつ、あなただけの部屋作りをしてみませんか？  
お手伝いさせていただきます。

住まいに関することなら、何でもご相談ください。

見積もり無料！